

# キャリア研究調査法 (質的調査・量的調査)ガイダンス —2年次からの体系的履修に向けて—

キャリアデザイン学部 教務委員会  
2021年3月22日(月)

## 本日の内容

1. 2年次からの体系的履修に向けて
2. 学部における調査法関連科目の体系
3. キャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)
4. ゼミ選択におけるキャリア研究調査法の事前履修について
5. キャリア研究調査実習について



## 2年次からの体系的履修に向けて

- 2年次春学期は領域選択の時期
  - 発達・教育キャリア / ビジネスキャリア / ライフキャリア
  - 5月にゼミ履修希望申請
  - ゼミの領域 = 自分が選択した領域
  - 入門系科目(例:「発達・教育キャリア入門A」)は、選択した領域で6単位の履修が必要
  - 展開科目52単位以上のうち、選択した領域から36単位以上が必要

# 学部における調査法関連科目の体系

- 1年次秋学期  
**キャリア研究調査法入門**(社会調査の基本的な考え方と技能)  
※ 必修科目
- 2年次春学期  
**キャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)**  
※ どちらかを選択必修  
※ キャリア研究調査法入門を履修済みであることが前提  
※ 3年次春学期以降にもう一方を追加履修可能(2年生優先)
- 2年次春学期～  
**キャリア調査研究実習A～F**  
※ 展開科目

# キャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)

※それぞれ9コマ(いずれもシラバスは共通)(登録抽選)

- 質的調査

- 社会調査のうち、質的データの収集と分析の方法を学ぶ
- 統計的計算や数字に頼らない調査
- インタビュー法 / ライフヒストリー法 / 観察法

- 量的調査

- 社会調査のうち、量的データの収集と分析の方法を学ぶ
- 変数の特徴の分析(度数分布表など)
- 変数の関係の分析(クロス集計表、散布図、相関など)
- 母集団と標本、統計的検定、ほか

## ゼミ選択におけるキャリア研究調査法の 事前履修について

各ゼミにおける学習や卒業論文執筆に向けて、質的調査および量的調査のスキルをどの程度求めるかがゼミによって異なるため、履修を希望するゼミを見通しながらキャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)の選択をおこなうことが望ましい。

- ※ 各ゼミにおいてキャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)が、「履修を強く推奨する」「履修していることが望ましい」「履修については特に問わない」のいずれにあたるかは、別紙を参照
- ※ 「履修を強く推奨する」の場合は、特に注意して履修しておくこと

# キャリア研究調査実習について

1つのテーマに社会調査の方法を通してアプローチする

キャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)と同時並行の履修も可能

発達・教育	キャリア研究調査実習B (恋愛の質的研究)	秋	木	4
ビジネス	キャリア研究調査実習C (データで語るキャリア)	秋	月	4
	キャリア研究調査実習D (仕事とビジネスの質的研究)	秋	水	3
ライフ	キャリア研究調査実習E (幸福論)	春	火	2
	キャリア研究調査実習F (まちづくり論)	春	木	4

※ キャリア研究調査実習Aは2021年度は休講

4月からの充実した学びに向けて、各種ガイダンス資料、  
掲示板情報、履修の手引き、WEBシラバスをよく読んで、  
準備しておきましょう。

